



# 2016年4月 事務所開設

二〇一六年四月、事業拡大に伴い、生駒市東新町に事務所を開設しました。放課後等デイサービス事業所を始めるにあたり、代表磯野が培ってきたネットワークを生かすため、生駒市内を視野に入れながら、最寄り駅までの距離および道の安全性、バリアフリーなどを考慮し、無事に条件に合う物件と出会うことができました。

床面積は約百平方メートル。落ち着いた空間づくりを意識しながら、ここに事務スペース、相談室、多目的室を設置し、放課後等デイサービス「tuna(つな)」事業をはじめ、各種セミナーや異業種交流の場としても活用していく予定です。

写真は、同月三日に開催した新事務所オープニングイベントの様子です。八十名余りの関係者がお祝いに駆けつけてくださり、たくさんのお祝いの言葉やお花をいただきました。場内は、放課後等デイサービスプログラムの体験や、大和むすびの試食、フォルクローレコンサート、ペルー楽器を使った演奏会ワークショップ、異業種交流会(えん会)などで賑わいました。



生駒駅から徒歩7分。窓からは近鉄電車が見える好ロケーション。広々とした室内に、セミナー開催や運動系プログラムなど可能性が広がる。

# えん新聞

発行 NPO法人市民活動サークルえん広報部  
 発行人 磯野 太郎  
 連絡先 生駒市東新町4-23 第一ビル301  
 TEL 0743-71-7701 FAX 0743-71-7702  
 E-mail en@circle-en.info  
 U R L http://circle-en.info/  
 発行日 毎年5月1日発行

## 沿革

- 2010年7月 任意団体市民活動サークルえん設立
- 2010年7月～現在 あまボノ事業・ならボラ事業の開始 NPO運営相談事業の開始
- 2014年4月1日～2015年3月31日 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2015in大阪実行委員参画 (開催日:2015年2月28日・3月1日)
- 2014年11月29日 NPO法人市民活動サークルえん設立総会開催
- 2015年1月～現在 奈良県中間支援NPO連絡会議参画
- 2015年3月18日 NPO法人奈良県認証取得
- 2015年4月1日 NPO法人市民活動サークルえん登記完了
- 2015年4月～現在 事務サポート「えんの下」の力持ち」事業の開始 裁判員ACT～裁判への市民参加を進める会へのチーフ就任
- 2015年5月～2016年1月 奈良市ボランティア養成講座 「折り紙ボランティア養成講座」開催協力
- 2015年12月～現在 関西NPOネットワーク(KNN)へ参画 (2016年度同会幹事団体に就任)
- 2015年11月～2016年2月 edge2016ゲストメンター協力
- 2015年12月～現在 ソーシャルえん足事業スタート
- 2016年1月～現在 ならボラ交流会事業スタート
- 2016年4月1日～現在 放課後等デイサービス「tuna」事業スタート
- 2016年4月3日 主たる事務所を奈良市から生駒市へ移転 新事務所オープニングイベント開催

## 放課後等デイサービス tuna開設

生きづらさを抱えた中高生にターゲットを絞り、学校卒業後、社会に出ることを想定した療育をおこなうことを趣旨とした奈良県指定事業所「放課後等デイサービスtuna」を四月よりスタート。

アメリカのブレインジムの手法を取り入れた運動系プログラムをはじめ、空間認知力を高める描画、言葉の抑揚や滑舌を意識した朗読、時間・お金の管理や人との距離感、自己表現のトレーニングなど、様々なプログラムを提供する予定です。また、ボランティア啓発事業として実施している『ならボラ』への参加も積極的



的に促し、専門の支援員以外の人との交流の機会をつくることで、子どもたちが社会に出たときに直面するであろう、様々な課題を克服していくきっかけにしていきたいと考えています。併せて、『ならボラ』参加者に対しても、障がいを持った子どもたちと接することで、障害への理解を高め、『生きづらさを抱える人々』に優しい社会への一助となれればと願っています。

## 個々の団体の状況に合わせて、寄り添いながら事務をサポートする『えんの下』の力持ち」事業を二〇一五年度より本格始動。

地域課題の解決に取り組む市民活動団体(以下、団体)の共通の課題として、資金不足、担い手不足という声がよく聞かれます。その根幹には事務力の不足という問題があるのではないかと考えます。

この事務力を充実させることで団体の運営を円滑にするだけでなく、信頼


## 事務サポート事業 『えんの下』の力持ち」本格始動

性向上にもつながることを期待しています。

『えんの下』の力持ち」では、広報物の制作が最も高いニーズを占めます。制作にあたりヒアリングを取る中で、団体が抱える様々な課題や悩みが浮上り、そこからまた別の業務での依頼に発展することがあります。

この事業の担当者(磯野奈緒)は、NPO事務支援センターが実施している『NPO事務力検定応用実務編(中級)』を取得しており、NPO事務の専門家の視点で、アドバイスをさせていただきます。

放課後等デイサービス tuna



支援が必要な中高生を対象に、卒業後を意識した、社会に出る準備として様々な学習や経験の場を提供いたします。

tuna@circle-en.info

NPO 団体の事務・広報をサポート

えんの下の力持ち




en@circle-en.info

週末3時間の社会貢献 見つけよう! 休日の新しい過ごし方

詳しくはWebで /

ならボラ 検索



# 『ならボラ』リピーターの希望、皆で実現

## ならボラ交流会



『ならボラ』事業がスタートして五年が経過し、次なるステージとして、リピーターや受け入れ団体スタッフの交流をより深めることを目的とした『ならボラ交流会』をスタートさせました。

リピーターが希望するスポットへ皆で遊びに行くという企画で、第一回はユニバーサルスタジオジャパン(以下、「USJ」)へ出かけました。

農作業ボランティアを始めとするアウトドア系プログラムの常連であるT氏の「USJに行つたことが無い。一度は行ってみたい。」との声をきっかけに、『リピーターの希望を皆で実現する』という一大プロジェクトへ発展しています。T氏の希望は、USJで働いているH氏の協力のもと、二〇一六年一月三〇日実現。

受け入れ団体2団体を含む総勢一一名で、クールジャパンの開催で盛り上がるUSJを一日中楽しみました。

交流会参加者から『春になったら皆で花見に行きたい』との要望があり、第二回交流会を四月下旬に実施することが決定しており、今後はリピーターから要望が挙がり次第、企画を進めていく予定です。

### 社会起業家を応援する『edg2015』

『edg2015(エッジ)』とは、Entrance for Designing Global Entrepreneurshipの略で、直訳すれば「グローバルな視野に立つ起業家をデザインする玄関口」。この訳語からも連想できるとおり「若者たちに向けて、社会起業家へとつながる扉を開く『きっかけ』、『チャンス』を、ビジネスプランコンペという取り組みを通じて提供したい」という「想い」が込められています。

通常のコンペとは異なり、プランの完成度や実現性を高めるブラッシュアップの機会を提供します。さらに、そのプロセスを通して、起業家や起業家を支援するサポーターとのネットワークや社会起業家に挑むプレイヤーとの出会いが生まれます。若き社会起業家を育てるコミュニティづくりも「edg」の&#x2013;コンセプト。 (edg公式サイトより引用)

当法人では、『edg2015』のゲストメンター(助言者)として協力。合宿での事業プランブラッシュアップおよび、個別相談、セミナーファイナルの審査を担当しました。

二三組のエントリーから、三回の審査を経て、五組がファイナルへ挑みました。「社会を変えたい!」そんな思いを持ったプレイヤーたちのパワーに大変刺激を受けました。



edg2016 ファイナル  
2016年2月13日(土) 梅田スカイビルにて

## データで見る『ならボラ2015』

プログラム名(定員)	地域	実施回数	参加者数(のべ)	内訳(人)
お手紙作成ボランティア in 橿原 (10名)	橿原市	3回	34名	10名
お手紙作成ボランティア in 奈良 (4名)	奈良市	5回	11名	3名
キャラクター折り紙ボランティア (4名)	奈良市	4回	19名	4名
黒滝食農イベントボランティア (2名)	黒滝村	※1回	2名	
コスモス育成ボランティア (4名)	奈良市	3回	14名	5名
子どもと遊ぶボランティア (2名)	桜井市	1回	3名	
チャリティウォークボランティア (2名)	葛城市	1回	2名	
橿原子ども寺子屋ボランティア (2名)	橿原市	1回	2名	
サッカーイベントボランティア (2名)	十津川村	2回	5名	
農作業ボランティア (6名)	大和高田市	10回	41名	13名
託児ボランティア (2名)	奈良市	1回	3名	
ボールで遊ぼうボランティア (5名)	橿原市	2回	5名	
みんなのスポーツフェスボランティア (10名)	橿原市	1回	2名	
ならボラ交流会 inUSJ	大阪市	1回	11名	11名

※荒天の為、中止

### ソーシャルえん足

## 珍スポット巡る大人の遠足

地域の魅力や社会を深く知る大人の遠足プロジェクト「ソーシャルえん足」が二〇一五年よりスタート。

写真右は、一二月に実施した『介助犬の広場 in 大東見学ツアー』での車椅子体験の様子。左は、三月に実施した『飛鳥の食と史跡と伝統を味わうツアー』にて訪問した、飛鳥坐神社の『おんだ祭』の様子です。

日常では触れることの少ないユニークなスポットや催しを巡り、参加者から「貴重な体験ができた」との喜びの声をいただきました。



## 実践に結びつけるボランティア育成

「ボランティア養成講座をより実践的なものにし、参加者を活動にむすびつけやすいしくみを作りたい。」という思いから、奈良市ボランティアインフォメーションセンターとの協働で実現した『折り紙ボランティア養成講座』。

折り紙は、高齢者や子ども向けのレクリエーションや、施設の装飾など幅広いシーンで活用されています。

この養成講座では、折り紙の指導を行い、出来た作品をセンターに設置しているパネルに飾ることで一つの大作に仕上げ、そこで得た達成感と自信の熱が冷めないうちに、近日中に参加可能なボランティアプログラムの紹介をおこないます。

全二回企画したところ、毎回定員の二倍を上回る申込みがあり、急遽回数を増やすこととなりました。講座内で紹介したボランティアへも多数の参加があったそうです。

